



住民主流の市政を! 川村 準 市政レポート

市議員
会議員
(無所属)

2015年
11月特別号

連絡先
〒336-0017
南区南浦和 1-27-11-107
携帯 090-1404-2151



発行: さいたま変革の会 カンパは郵便振替口座: 00170-9-386914 口座名義: さいたま変革の会 ④: junkawamura1923@gmail.com

VS 清水市長

赤字ハコモノと場当たり的な興業イベント 未来へ無責任な市政を徹底批判!

全国で政令指定都市は現在、20市あります。そして、その20市のうち、さいたま市の福祉は非常に低い水準にとどまっています。そこで私は、9月議会の一一般質問でさいたまクリテリウムなどの興業イベントや大宮盆栽美術館などの赤字ハコモノに市税を投入するのではなく、遅れている福祉に重点投入すべきだ、との意見を提案しました。また、魅力ある街づくりの観点からは、様々な興業イベントを複数場当たり的にやるのではなく、本市が強みのある一本にすべきと意見を開陳しました。

左の表に記載しましたように、さいたま市は保育所の定員数、医師・看護師の数、学童保育の待機児童数、幹線道路の整備率が政令指定都市でワースト1位、広域避難場所も平均の3分の1しか設置されず、

南区に限って言えば人口当たりの公園面積は東京23区の半分以下と非常に低い水準にとどまっています。さいたま市は現在、日本全国の人口減を尻目に、人口は増加を続けています。しかし、市の政策局は10年

◇まちづくり政策の転換を!

- 保育所の定員数
- 医師・看護師の数
- 学童保育の待機児童数
- 幹線道路の整備率
- 広域避難場所の設置数 (政令指定都市の平均1/3)
- 公園の人口当たり面積 (南区は東京23区の半分以下)
- 大宮盆栽美術館 (2面参照)
- 岩槻人形会館 (4面参照)
- さいたまクリテリウム (2面参照)
- さいたまトリエンナーレ (2面参照)

汚名返上
暮らしやすく
住みやすい
ベストなまち

**生活基盤の
整備充実を**
NO! 赤字ハコモノ
興行イベント

後が人口増のピークで、それ以降は人口減少時代に入ると推定されています。人口が減少すると、市の税金も減少するのが一般的です。来る人口減少時代に備えて、市は福祉体制や市民サービスの充実を整えることが喫緊の課題と言えます。

市民の要望は町おこしより暮らしやすい街づくり。地方創生が安倍総理の掛け声で始まり、観光を中心とした街づくりを進めている自治体もあります。しかし、さいたま市は大都市・東京に隣接する場所に位置し、並大抵の観光資源では存在感を示すのは難しいと言えます。

実際、さいたま市民は観光資源を整えることより、住みやすい街づくりを求めている市民が多いことが、「市民意識調査」でも明らかになっています。直近の「市民意識調査」では今後力を入れてほしい事業はトップから「高齢者福祉の充実」、「子育て支援の充実」、「道路の整備」となっています。

このことから、さいたま市民は都内で大きなイベントを楽しみ、本市自体には暮らしやすく、住みやすさを求めています。

南浦和駅のエレベーター広報 市の非協力態勢変わらず

興業イベントは強みのある事業へ一本化する。また、今後建設予定のハコモノや興業イベントも大きな問題を抱えているものが多い。

川村準 情報開示をより徹底すべきと考えるが、市の見解は。遠藤副市長 市報さいたまや市ホームページ等を利用し、市民に伝えるよう努めている。

南浦和駅のエレベーター設置が、西口は16年3月までに、東口は17年3月に完成が予定されています。しかし、このエレベーター設置には市の広報が行き届いておらず、多くの市民がエレベーターの完成時期や完成予定図を知らないままです。西口の完成予定時期は、ようやく駅に告知ポスターが貼られました。一方、東口の完成予定時期を明記したポスターはまだ貼られていません(11月4日現在)。市の広報態勢を改めるよう私は一般質問で追及しました。

南浦和駅のエレベーター 育中の方などの負担を軽減するもので、南浦和駅の設置は周辺住民の永年の悲願でした。エレベーター置は大きな前進です。しかし、私が駅前ですら

が多数あります。まず、すでに建設されたものですが、北区の大宮盆栽美術館(2面関連記事)は毎年およそ1億5千万円の赤字を垂れ流し、市の財政を圧迫しています。次に、岩槻区に建設予定の人形会館(4面関連記事)も同様に、建設前から毎年およそ1億5千万円の赤字が見込まれており、人口減少時代にはそぐわないハコモノと言えます。

川村準 人口減少時代を見据え、福祉や市民サービスの基盤づくりに市税を集中投下すべき。興業イベントは一つに絞るべきだ。大熊都市戦略本部長 人口減少時代を見据えるからこそ、選ばれる都市になるためビッグイベントで魅力を発信していく。野間スポーツ文化局長 一つに限らずやることで新しい本市の歴史を創造する。

残念ながら、市の答弁は、従来通りの多方面において大盤振る舞いの市政を続けるとのことでした。しかし、あれもこれもと事業を増やしても実を結ぶ確率は低いでしょう。本当に必要なものに絞って行うからこそ実を結ぶと考えます。私は今後も福祉、市民サービスの充実を実現するべく、奮闘してまいります。

赤字ハコモノ

岩槻人形会館を2館建設？ 地元住民も首をひねる市長と市議会の暴走

岩槻人形会館は、岩槻区に建設予定の人形の博物館です。建設前から毎年およそ1億5千万円の赤字を垂れ流すことが確実視されている上に、地元住民の間ですら反対の声が非常に大きい「ハコモノ」ですが、9月議会で市長は人形会館を2館建設する議案を提出してきました。1館でも反対の声が大きいのに、なぜ2館も造るのか。議案は、自民、民主改革、公明の賛成多数で可決されたものの、私は反対のため請願などの手段で戦っています。

岩槻人形会館は、当初岩槻城の跡地である岩槻城址公園の隣接地に建設が予定されていました(左の図参照)。

しかし、今回の市の執行部は岩槻区役所の跡地と岩槻城址公園の隣接地に人形会館を建設することを提案しました。つまり、岩槻人形会館を2館、建設するというのです。

しかし、人形会館は計画が持ち上がった当初から来場者は約7万人前後で推移し、毎年およそ1億5千万円の赤字を垂れ流すのが確実、と市も認めている施設です。



区役所機能を一部付与
区民の利便性無視か

城址公園の隣接地に、教育・文化の伝承を目的とした人形会館、区役所跡地に展示物をメインとした人形会館を造るようです。しかし、2館建設すれば、当然建設費用は1館よりも増え、運営コストも増える可能性が高いといえます。

また、今回の区役所跡地の人形会館には、岩槻駅前ワッツにある岩槻区役所の機能である行政サービス機能が一部入ることになりました。

浦和駅東口のパルコの9階に、サポセンはあります。今まではNPOがサポセンの運営を行っていましたが、今後は市が直接運営(直営)する、との議案が自民党系議員からの提案で提出され、可決しました。来年4月から直営が開始されます。

市民活動が活発になることは住民主役や民主主義などの観点から非常に大事なことです。しかし、今回浦和駅近くにある「市民活動サポートセンター(サポセン)」を利用する複数の市民団体が自民党議員に問題視されました。そして、サポセンの運営を従来のNPOに委託でなく、直営化することが自民党議員から提案されました。「このことで早くも、市民団体の間で萎縮の動きが見られています。健全な市民活動の充実のために萎縮させない工夫が必須です。」

今回の議案の提出の背景には、一部の市民団体が本来禁止されている政治活動を行っているため、市がしっかり監視する目的があります。

しかし、今回の議案は次のような問題をほらんでいるため、私は反対しました。

まず、議案が提出されたのが、議案を採決する2日前で、十分に内容を精査する時間がなかったことです。提出議員に、この議案の必要性を問いたしましたが、この提出議員の言い分と、政治活動を行ったとやり玉に挙げられた市民団体の間で、言い分が異なっていたのです。どちらの言い分が正しいのか確認しようにも、わずか2日では調査にも限界があるため、拙速と言える議案提出でした。

また、直営となると市長や市議会がどういった考えを持ってサポセンを運営するかは非常に大事な要素となります。そこで議案の質疑で、市民団体が具議院に請願をすることの是非を質問しました。

川村準 本議案の提出の背景と考えられる委員会の質疑で、このサポセンを利用する市民団体が具議院に請願を行ったことを問題視している。請願を行うと、政治活動になるのか。

青羽議員 請願を行った時、県と東電の話合いが進行していた。タイミングからして、その時の請願は政治活動だ。

しかし、憲法16条に「請願の自由」が国民に保障されています。時と場合によって請願の制限をかけられるというのは憲法にも抵触しかねません。こういことを総合的に勘案してサポセンの直営化に反対しました。

私は今後も市民活動を萎縮させず、より良いさいたま市のためしっかりと活動して参ります。



サポセンのフロアで会議をする利用団体

市民活動サポートセン

市民活動の萎縮が懸念 請願の制限かけ違憲の疑い

しかし、区役所機能の分散は、岩槻区民にとって行政手続きを受け取る際に、非常に大きな手間となりま。そのため、岩槻区民の利便性をも無視したものと言えます。

私は今後もこの人形会館の問題点を追及してまいります。

市民の請願が議会決議に 問題あれば ご相談ください

9月議会では、私が市民から依頼された請願が「入札参加停止業者に係る情報の透明性の向上を求める決議」という議会決議になりました。

この議会決議では工事の入札等に参加が停止された業者が、なぜ参加停止になったか経緯や根拠を明らかにすることを求め透明性の高い公表手法を導入するよう、議会が市の執行部に対して求めるものです。

今回の議会決議で、市の工事等が、より透明性が増し、公平性も高くなる効果が期待できます。

請願が元になったことから、一市民の力が市議会を動かした形になりました。改めて、市民の一人の力でも大きなことが出来ると実感出来ました。

皆様の請願受け付けます
気になることはお声をかけます

今回の請願は議会決議で全会一致というベストの形で通過できました。その他の請願は、私が紹介議員になったものでも、不採択や芳しくない形で終わったものも少なくありません。

しかし、結果が不調に終わっても、議会に請願という形で提出されることで、市の執行部や市議会議員の問題点に気づかせたり、市民のニーズを発見させることに繋がります。

市のごことで何か気になることがあれば、お気軽に電話(出られない場合もあります)やEメールでご意見や請願の相談をお届けください。

川村準は、市長から支給される政務活動費(年間408万円)を受け取らずに活動しています。